

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成28年5月分)

平成28年6月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢
 - (1) 国家レベル
 - (2) エンティティ、特別区
 - ・スルプスカ共和国(RS)
2. 外政
 - (1) 国際機関、フォーラム
 - (2) 要人往来、国際会議等
3. 経済
 - (1) 経済指標
 - (2) 経済政策、公的事業
 - (3) 支援、援助
 - (4) 民間企業

(注: 以下は、現地紙など公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

● 中央選挙管理委員会が地方選挙の実施日を決定(4日)

中央選挙管理委員会は、地方選挙を16年10月2日に実施することを決定した。地方選挙は、両エンティティ及びブルチュコ特別区の地方自治体で行われるが、モスタル市に関しては、地方選挙実施のための法的条件が揃っておらず、同決定から省かれた。ただし、法的条件が達成されれば、後日、モスタル市における地方選挙の実施は可能との見方が示された。

● ユキッチBH統計庁長官が13年国勢調査に関する統計処理手法を決定(18日)

ユキッチBH統計庁長官は、13年国勢調査の一部データに関する統計処理方法について、単独で決定を行った。決定された統計処理方法に反対するRS統計庁やRS側政治家からは、同決定に対する強い不満の声があがった。同決定による統計処理方法は、約196,000人分の国勢調査結果に関係する。

同決定は、13年に実施した国勢調査の公式結果が、統計処理方法を巡って関係者間で合意に至ることが出来ず、そのために法律が定める期日である7月1日までに公表出来ない可能性があったことを背景としている。

● BH公共放送(BHRT)運営委員会が、6月30日からBHRTの放送及び番組作成を休止することを決定(30日)

BHRT運営委員会は、BH国家機関が、国

営放送局であるBHRTの財政問題の解決に向けた対策を怠っていることを理由として、6月30日をもって、放送及び番組作成を休止することを決定した。

同日、BH議会には、公共放送の受信料(税)徴収方法について定める「公共放送システムに関する法律」案が民主行動党(SDA)及び「より良き将来のための連合(SBB)」より提出された。

(2) エンティティ、特別区

・スルプスカ共和国(RS)

●バニャ・ルカにおいてフェルハディヤ・モスクの開設式が執り行われる(7日)

式典には、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長、イバニッチBH大統領評議会メンバー、ドディックRS大統領らBH要人にあわせて、ダーヴトオール・トルコ首相が出席した。式典には、約8,000人の参加者が集まった。

同モスクは、1579年に建造されたオスマン・トルコ時代の代表的建造物の一つで、紛争中に破壊されたため、01年から修復作業が進められていた。なお、01年の同モスクの定礎式では、セルビア系過激派による騒擾が起こり、大きな混乱を呼んだ。

●ドニャ・グラディナにおいて第二次大戦下のヤセノバツ強制収容所における犠牲者追悼式典が執り行われる(8日)

同式典は、第二次大戦下のヤセノバツ強制収容所において、ウスタシャによって殺害された犠牲者を追悼するため、ヤセノバツ強制収容所からの一部収容者脱走の71周年記念とあわせて執り行われた。式典においては、ニコリッチ・セルビア大統領及びドディックRS大統領が献花を行った。

●バニャ・ルカにおいてRS内与野党がそれぞれ抗議集会を実施(14日)

RS内与党「独立社会民主主義者連合(SNSD)」及びRS内野党連合「改革のための連合」は、それぞれ別の場所で抗議集会を同日に行った。野党連合による抗議集会では、RS大統領選等の早期実施を含む、RS政権に対する要求が発表された。RS内務省は、これらの抗議集会への参加者に対して、場所の移動や行進を禁じた。集会参加者間の衝突はなし。

●BH憲法裁判所がRS憲法第7条の合憲性を認める(26日)

BH憲法裁判所は、RS憲法第7条が、「ボシュニャクの言語」と規定していることに関する合憲性審査の申立てに対して、当該規定の合憲性を認めた。

BH憲法裁判所は、該当の規定について、中立的であり、言語の名称を定めるものではなく、ボシュニャクの人々が、他民族と同様に、自身の言語の呼称を定める権利を持つことを認めるものだと判断した。

2. 外政

(1) 国際機関、フォーラム

●国連安保理でのインツコ上級代表によるBH情勢報告(5日)

BH情勢に関する国連安保理への報告の中で、インツコ上級代表は、今後BHは困難な時期に差し掛かるが、全ての当事者が Dayton 和平合意を尊重して協力すれば、BHがこれを乗り越えることは可能と述べた。

国連事務総長への第49回報告書の中で、インツコ上級代表は、今年2月15日のBHに

よるEU加盟申請提出を歓迎した。

●ズビズディッチBH閣僚評議会議長のストラ
スプール訪問、モゲリーニEU外務・安全保障
政策担当上級代表及びハーン欧州近隣政
策・拡大担当欧州委員との会談(10日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、モゲリーニEU外務・安全保障政策担当上級代表と会談を行い、EU加盟がBHの最優先外交政策であることを伝えた。モゲリーニ上級代表は、これまでのBHによる進展を称え、早急な安定化・連合協定(SAA)の調整とEU加盟のための調整メカニズムに関する合意への到達を重視する考えを示した。

ハーン欧州近隣政策・拡大担当欧州委員との会談で、ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、17年中の加盟候補国の地位獲得を目指して改革プロセスを継続すると述べた。ハーン欧州委員は、運輸、エネルギーに関する国家レベルの分野別戦略を策定することや、国勢調査結果を可及的速やかに公表することの必要性を伝えた。

●クラークUNDP総裁のBH訪問、イゼトベゴ
ビッチBH大統領評議会議長との会談(19日)

イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長(チヨービッチ及びイバニッチBH大統領評議会メンバーは欠席のため代理出席)は、クラークUNDP総裁に対して、14年の洪水被害におけるUNDPの支援に謝意を表明した。両名の協議では、特に、UNDP、UNESCO及びUNICEFがBH大統領評議会と協力して実施した「未来のための対話」プロジェクトが言及され、イゼトベゴビッチ大統領評議会議長は、BH及び域内における和解の重要性に鑑みて、「未来のための対話」プロジェクトの継続及び拡大

への意思を示した。

クラークUNDP総裁は、UNDPが、BHによる15-18年改革アジェンダの履行及びEU加盟を強く支援していることを強調した。

●IMF代表団のBH訪問、融資プログラムに
ついてIMF・BH間の実務レベルで合意(24
日)

IMF代表団は、BHに10日から24日まで滞在し、BH側と新たな融資プログラム等について協議した。訪問最終日、IMF代表団は、BH当局と、36ヵ月間で5億5,000万ユーロの拡大信用供与措置(EFF)に実務レベルで合意に到達したとの発表があった。右合意は、16年7月のIMF理事会で正式に承認される予定。

EFFが支援する経済プログラムは、①投資の呼び込み、民間セクターの雇用創出及び経済成長の潜在能力向上のためのビジネス環境改善、②統治機構の規模縮小、政府支出の質向上を伴う、段階的な財政安定化による公的負債の緩和、③信用金融セクターの安定性のセーフガード、を目標とする。また、同プログラムが、国際金融支援の活性化を促すことで、EU及び世銀も、追加的な財政支援の提供を検討していると告げられた。

(2)要人往来、国際会議等

●ズビズディッチBH閣僚評議会議長とタニ・
カタール経済通商相との会談(4日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、サラエボ・ビジネス・フォーラム出席のためにBHを訪問したタニ・カタール経済通商相と会談を行った。両名は、両国間の関係は好意的であり、向上し続けていると評価した。また、昨年、カタールからの観光客が顕著に増加したことが

着目された。両名は、良好な傾向と利益の拡大が今後も続くことへの確信を表明した。

●ズビズディッチBH閣僚評議会議長とシムシェッキ・トルコ副首相との会談(5日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、サラエボ・ビジネス・フォーラム出席のためにBHを訪問したシムシェッキ・トルコ副首相と会談を行った。シムシェッキ・トルコ副首相は、トルコがBHを強く支援し、BHとの関係に多大な関心を払っていることを伝えた。同副首相は、BHからの肉類の輸入を継続する意向を伝えた。両名はBHのEU加盟により、BHが域内で重要な経済地区となり、BHでの投資リスクを和らげることに同意した。

●レイネル・クロアチア議会議長のBH訪問、BH大統領評議会及びズビズディッチBH閣僚評議会議長との会談(16日)

レイネル・クロアチア議会議長とBH大統領評議会(イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長及びチョービッチBH大統領評議会メンバー、イバニッチBH大統領評議会メンバーは欠席により代理が出席)の会談では、両国の友好的な二国間関係が強調され、域内協力及びEU加盟プロセスについて協議が行われた。

レイネル・クロアチア議会議長は、改めてクロアチアがBHのEU及びNATO加盟プロセスを強く支持することを表明し、両国間の欧州パートナーシップ協定の速やかな締結と、BH閣僚評議会及びクロアチア政府の共同閣議の実施への期待が表明された。両者は、アドリア・イオニア間高速道路や、アドリア・イオニア・ガス・パイプライン、サバ川を跨ぐ橋の建設を含むインフラ及びエネルギー事業の重要性を強調した。また、経済協力、観光及び農

業分野における協力拡大も、二国間関係における優先事項であることが述べられた。また、クロアチアによる両国国境近くでの放射性廃棄物処理場の建設計画及びブロード製油所の環境汚染問題について解決策を見出す必要性について議論された。

ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、レイネル・クロアチア議会議長との会談で、BHの政治情勢について伝え、EU及びNATO加盟プロセスを加速化すると述べた。レイネル議長は、BHのEU加盟への支持を表明した。また、BH閣僚評議会とクロアチア政府間の合同閣議についても言及された。

●シーヤールトー・ハンガリー外相のBH訪問、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長、ズビズディッチBH閣僚評議会議長及びツルナダクBH外相との会談(17日)

それぞれの会談で、ハンガリーとBHの二国間関係が友好的であり、懸案事項が存在しないことが確認された。シーヤールトー外相は、BHのEU加盟プロセスの進展が、南東欧地域の安定と平和に寄与するとし、これを支援する考えを伝えた。また、シーヤールトー外相より、ハンガリー政府がサラエボ・ブダペスト間の航空路開設に向けて取り組んでいることが伝えられた。

●ツルナダクBH外相のスロバキア訪問、ライチャーク・スロバキア副首相兼外務・欧州問題相との会談(27日)

両者は、BH及びスロバキア間の二国間関係が友好的であり、懸案事項が存在しないことを確認した。ツルナダク外相は、7月1日からスロバキアがEU理事会議長国となることから、同国の議長就任後、速やかにBHのEU加

盟申請が受理されることへの期待を述べた。ライチャーク外相は、安定化・連合協定(SAA)の調整が出来なければ、他の条件が満たされても、BHのEU加盟候補国申請に対して好意的な反応を得ることは難しいと懸念を表明した。同外相は、スロバキアが議長を務める7月中旬のEU外務理事会の議題に、BHの加盟候補国申請が掲載されることを期待する旨発言した。更に、EU加盟候補国に加えて、特例としてBHを今秋に外相級非公式会合に迎える考えについても言及した。

●サラエボにおけるブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合の開催(28日及び29日)

ブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合には、BH大統領評議会メンバー(イゼトベゴビッチ大統領評議会議長、イバニッチ及びチヨービッチBH大統領評議会メンバー)、グラバル=キタロビッチ・クロアチア大統領、パホル・スロベニア大統領、ニコリッチ・セルビア大統領、ブヤノビッチ・モンテネグロ大統領、ニシャニ・アルバニア大統領、イヴァノフ・マケドニア大統領、サチ・コソボ大統領のほか、特別賓客として、マッタレラ・イタリア大統領が参加した。

会合における声明の中で、参加した各国首脳は、南東欧地域の安定的な政治環境を創出する責任を負っていることが確認され、EU加盟プロセス等での協力の意思が表明された。

3. 経済

(1) 経済指標

●産業生産高

BH統計局の発表によると、16年4月の産

業生産高は、16年3月と比較して3.2%の減少。15年4月との比較では3.8%の増加。

●雇用／失業者数

BH統計局の発表によると、16年3月のBH全体の雇用者数は721,633人。16年3月の失業者数は530,370人で失業率は42.3%(前月比0.4%減)となった。

●平均給与

BH統計局の発表によると、16年3月のBHにおける平均給与は843KM(約431ユーロ)で、15年3月との比較で1.2%増となった。

●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、16年4月は、16年3月と比較して、消費者物価指数は平均で0.3%の減少。年間比較では、平均1.6%下落した。

●銀行部門

BH中央銀行によると、16年4月時点でBH国内の銀行が提供している融資総額は169億4,800万KM(約86億6,500万ユーロ)で、15年4月と比較して2.1%の上昇。国内銀行への預金総額は166億4,000万KM(約85億100万ユーロ)で、15年4月と比較して8.1%の上昇。

●貿易額

BH統計局の発表によると、16年1月から4月のBHの輸出額は29億1,900万KM(約14億9,200万ユーロ)、15年同時期と比較して1.4%増)、輸入額は49億3,800万KM(約25億2,500万ユーロ、15年同時期と比較して同水準)となった。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から4月):①ドイツ(5億410万KM/約2億5,770万ユーロ)、②イタリア(3億7,590万KM/約1億9,220万ユーロ)、③クロアチア(3億370万KM/約1億5,530万ユーロ)、④オーストリア(2億3,650万KM/約1億2,090万ユーロ)、⑤セルビア(2億1,580万KM/約1億1,030万ユーロ) 参考:日本(16年4月分のデータなし)

・輸入相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から4月):①ドイツ(6億3,530万KM/約3億2,480万ユーロ)、②イタリア(5億8,510万KM/約2億9,900万ユーロ)、③セルビア(5億7,870万KM/約2億9,590万ユーロ)、④クロアチア(4億5,370万KM/約2億3,200万ユーロ)、⑤中国(3億4,090万KM/約1億7,430万ユーロ) 参考:日本(2,856万KM/約1,460万ユーロ)

* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

●観光客数

BH統計局の発表によると、16年3月、BHにはのべ70,248人(うち日本からは530人)の観光客が訪れ、前月比で34.4%増、前年比9.2%増となった。

(2)経済政策、公的事業

●「サラエボ・ビジネス・フォーラム2016」の開催(4日及び5日)

「Bosna Bank International(BBI)」は「Islamic Development Bank」及びBH閣僚評議会との協力のもと、サラエボにおいて7回目となる投資会議「サラエボ・ビジネス・フォーラム2016」を開催した。今回のフォーラムは、中国及び中東欧16カ国による「16+1」ビジネス・フォー

ラムとの共催となった。

同フォーラムでは、域内の農業、エネルギー、インフラ及び建築、観光、教育と、中国及びドバイとの協力の可能性について意見交換等が行われた。

●モスタル市と「HNA Group」社を含む中国企業の代表が戦略的協力協定を締結(11日)

同協定は、モスタル市と、中国企業側の代表としての独「ADC」社の間でフランクフルトにおいて署名された。中国側は、特にモスタル市の鉱業地帯及び同市の空港に関連したプロジェクトへの関心を表明した。また、クロアチアのプロチェ港との近接性への関心も言及された。

●外国投資促進庁(FIPA)がイバニツァ観光プロジェクトへの国外からの投資を募集(13日)

同プロジェクトは、BH南西部に位置し、クロアチア・ドゥブロブニクから6キロの距離にあるイバニツァ村の土地650ヘクタールに観光村を建設することを計画している。プロジェクト規模は5億ユーロ以上の見積もり。

●BH連邦政府が製薬会社「Bosnalijek」社の民営化に合意(24日)

BH連邦首相補佐官によると、BH連邦政府は、「Bosnalijek」社を、サラエボ証券取引所を通じて、同政府が所有する株式を売却することに合意した。同補佐官によると、16年、BH連邦政府は、「Alminij」社及び「Energoinvest」社を、再建後に売却する予定。

(3)支援、援助

●UNDPとBH内の21地方自治体が覚書を

締結(31日)

UNDPは、BH内21の地方自治体と、地方総合開発プロジェクト(約660万ユーロ)の覚書を締結した。同プロジェクトは、社会経済的開発、ガバナンス向上、地元インフラの開発を目的としており、参加する地方自治体は、公募の後に選出された。

(4)民間企業

●伊「Intesa Sanpaolo Group」が、南東欧諸国の中国「一帯一路」に関する中小企業への支援を表明(19日)

伊「Intesa Sanpaolo Group」は、クロアチア、アルバニア、スロベニア、BH及びセルビアに所在する同グループの銀行ネットワークを通じて、南東欧諸国の「一帯一路」構想に関する中小企業に対して総額10億ユーロの信用供与を行うことを発表した。この信用供与は、「一帯一路」構想に伴うプラント、設備、車両の購入や工業施設の拡大及び再建、研究開発に供される。

●「Stanari」火力発電所の試験運転許可(21日)

ゴリッチRS都市計画・建設・環境相は、中国「Dongfang Electric Corporation」社が建設した「Stanari」火力発電所の試験運転の許可を与えた。通常運転の許可は、約1年後に与えられる予定。

(了)